

2025年度事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1. 概要

2025年2月7日開催の第49回理事会で決議された2025年度(2025年4月～2026年3月)事業計画に基づき、バイオサイエンス分野の研究者に対する研究助成、国際交流助成及び学会等開催助成などの諸事業を予定どおり実施した。

2. 年間の経緯 (2025年4月～2026年3月)

2025年

- | | | |
|-----|-----|---|
| 4月 | 18日 | 会計・業務監査 |
| 5月 | 14日 | 第50回理事会(決議の省略による方法)文書発信。決議日 5月22日 |
| 5月 | 22日 | 第21回評議員会招集 |
| 5月 | 23日 | 第51回理事会招集 |
| 6月 | 6日 | 第21回評議員会 ハイブリッド開催(於:如水会館)
第51回理事会 ハイブリッド開催(於:如水会館) |
| 6月 | 27日 | 2024年度事業報告及び決算書類提出(内閣府、電子申請) |
| 7月 | 1日 | 第37回国際交流助成(下期)募集開始(8月31日締切)
第37回研究助成募集開始(9月30日締切) |
| 9月 | 下旬 | 第37回国際交流助成(下期)選考 |
| 11月 | 1日 | 第37回学会等開催助成募集開始(11月30日締切) |
| 11月 | 14日 | 第16回研究助成報告交流会 ハイブリッド開催(於:大手町サンケイプラザ) |
| 12月 | 26日 | 第37回研究助成選考委員会、第37回学会等開催助成選考会 ハイブリッド開催
(於:如水会館) |

2026年

- | | | |
|----|-----|--------------------------------|
| 1月 | 4日 | 第38回国際交流助成(上期)募集開始(2月28日締切) |
| 2月 | 6日 | 第52回理事会 ハイブリッド開催(於:KKRホテル東京) |
| 3月 | 6日 | 第37回研究助成贈呈式 ハイブリッド開催(於:如水会館) |
| 3月 | 30日 | 2026年度事業計画書及び収支予算書提出(内閣府、電子申請) |
| 3月 | 下旬 | 第38回国際交流助成(上期)選考 |

3. 事業

(1) 助成事業

2025 年度助成事業のまとめ (2024 年度対比)

事業名	応募件数		助成件数		採択率(%)		予算(万円)		実績(万円)	
	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024
研究助成	200	178	32	31	16	17.4	6,300	6,200	6,300	6,100
メディカルサイエンス	134	120	19	19	14.2	15.8	3,900	3,900	※4,000	3,800
バイオテクノロジー	54	50	9	9	16.7	18	1,900	1,900	1,800	※1,900
環境バイオ	12	8	4	3	33.3	37.5	500	400	※500	※400
国際交流助成	119	95	36	35	33.6	38.9	900	900	※842	※872
上期	41	47	14	17	36.6	36.2	450	450	※372	※460
下期	78	48	22	18	32.1	41.7	450	450	※470	※412
学会等開催助成	58	45	35	19	60.3	42.2	400	400	450	430

注1) メディカルサイエンス：2025 年度※4,000 万円は増額 100 万円(優秀賞)2 名分を含む

バイオテクノロジー：2024 年度※1,900 万円は増額 100 万円(優秀賞)1 名分を含む

注2) 環境バイオ：2025 年度※500 万円、2024 年度※400 万円は、各々増額 100 万円(優秀賞)1 名分を含む

注3) 国際交流助成：※内定時総額より変動(他研究資金との重複助成による減額又は辞退、余剰金返還等の結果)

※採択率は選考終了時のもの(採択件数≥助成件数)

1) 研究助成

3 つの募集区分に対して7月初めから 9 月末まで募集した結果、計 200 名(前年度 178 名)の応募があった。前年度応募が微減となった環境バイオ分野(奨励研究)も二桁に戻った。また、女性研究者の応募は全体で 41 名(前年度 36 名)と引き続き好調であった。選考委員会答申に基づく理事会審議を経て、全 32 名に研究助成(うち、奨励研究 4 名)を行った。

また、助成金増額対象者(+100 万円/優秀賞)について審査した結果、メディカルサイエンス分野 2 名と環境バイオ分野 1 名が優秀賞に選考された。なお、全体の採択率は 16%となった。

2) 国際交流助成

上期(募集期間 1-2 月)は 41 名の応募があり、15 名に対して計 425 万円の助成が内定した。内定通知の結果、1 名が辞退し補欠 1 名を繰り上げた。その後(補欠者に不採択通知後)、助成者 1 名から諸般の事情(パスポートの問題)で学会参加が取り止めになったとの連絡があり、助成者が 1 名減員となった。また、オンライン発表への変更等による減額助成もあり、上期は助成者 14 名、実績額 372 万円となった。

下期(同 7-8 月)は、半期で財団歴代第 1 位となる 78 名もの応募があり、25 名に対して計 535 万円(※下期予算 528 万円)の助成が内定した。内定通知の結果、2 名が辞退し、補欠 2 名を繰り上げた。

その後に 3 名から辞退の連絡があったので、下期は助成者 22 名、実績額 470 万円となった。

※当初予算 450 万円+上期予算未達分 78 万円

辞退 5 名の辞退理由は、他財団との重複助成(他の助成金受給の禁止)が 1 名、演題不採択が 3 名、

発表学会の延期が1名であった。

以上の結果、年間では助成者36名、実績額842万円(予算900万円)となった。

なお、上・下期ともに正副選考委員長による選考会答申に基づいて理事長決裁されている。

3) 学会等開催助成

11月の一ヶ月間募集したところ、財団歴代第3位となる58名の応募があった(前年度45件)。正副選考委員長による選考会答申に基づく理事会審議を経て、20万円10件、10万円25件の合計35件/450万円の助成を行った。各助成額は選考時の成績順に割り振った。

なお予算措置としては、当初予算400万円に、国際交流助成の対予算残額から50万円を充当した。

(2) 第16回研究助成報告交流会

2025年11月14日(金)に大手町サンケイプラザ(ハイブリッド形式)にて開催した。第34回(2022年度)の助成者等26名(うち現地参加22名)による口頭発表が行われ、財団役員・選考委員・外部関係者等33名が参加し活発な質疑応答が行われた。報告会の後は交流会を開催し、助成者や参加者間の情報交換等を行った。

(3) 第37回研究助成贈呈式

本年度の研究助成贈呈式を2026年3月6日(金)に如水会館(ハイブリッド形式)にて開催した。選考委員長による選考経過報告の後、研究助成受領者一人ひとりに対し、理事長より助成金目録及び記念盾が贈呈された。その後、協和キリン株式会社・宮本昌志会長より来賓祝辞をいただいた。

引き続き、過去の研究助成者2名による下記の特別講演が行われた。

1) 産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門 研究グループ長 岡谷 千晶

「糖鎖空間オミクスが拓く疾患研究の新展開」

2) 山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 講師 小野田 淳人

「『境界面』から拓く環境毒性学
— プロテインコロナが左右する超微小粒子の生体応答 —」

参加者は、助成受領者は32名中26名(全員現地参加)、全体ではオンライン参加者含めて54名であった。

式典終了後、会場を移してポスターセッション形式で助成受領者による研究計画発表会後、立食形式の祝賀会を行った。

(4) 年報の発行

2025年8月31日付けで2024年度年報(第26号)を250部作成し、関係者へ配布した。また財団ホー

ムページから概略版を公開したほか、国会図書館にも納本した。

(5) パンフレット更新

今年度の財団紹介パンフレットを 400 部印刷し関係各所に配布した。また、ホームページで PDF 版を公開した。

4. 理事会

定例理事会 2 回と臨時理事会 1 回を下記のとおり開催し、各理事会の議案は全て承認された。

(1) 第 50 回理事会(定例／決議の省略による方法)

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者	理事 三箇山俊文
決議日	2025 年 5 月 22 日(木)
議事録作成者	理事 石田浩幸
同意書	理事 9 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)
審議事項	①2024 年度(2024 年 4 月～2025 年 3 月)事業報告及び収支決算報告 ②第 21 回評議員会の開催内容

(2) 第 51 回理事会(臨時)

日程	2025 年 6 月 6 日(金)
場所	如水会館(※ハイブリッド形式)
出席者	理事 9 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 21 回評議員会審議結果 ② 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ③ 第 50 回理事会報告事項(再掲)

(3) 第 52 回理事会(定例)

日程	2026 年 2 月 6 日(金)
場所	KKR ホテル東京(※ハイブリッド形式)
出席者	理事 9 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 37 回国際交流助成(下期)助成者 ② 2024 年度年報(第 26 号)発行 ③ 第 16 回研究助成報告交流会 ④ 基本財産等の運用 ⑤ 2025 年度決算見込み ⑥ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ⑦ 事務局トピックス ⑧ 今後のスケジュール、その他 審議事項

- ① 第 37 回研究助成受領者の選出
- ② 第 37 回学会等開催助成対象団体の選出
- ③ 2026～2029 年度選考委員の選出
- ④ 特定費用準備資金の利用計画について
- ⑤ 2026 年度事業計画案
- ⑥ 2026 年度収支予算案
- ⑦ 監事監査規程の制定について

5. 評議員会

定例評議員会 1 回を下記のとおり開催し、全議案は承認された。

(1) 第 21 回評議員会(定例)

日程	2025 年 6 月 6 日(金)
場所	如水会館(※ハイブリッド形式)
出席者	評議員 6 名、監事 2 名、理事長、常務理事、事務局長
主な議題	報告事項 ① 2025 年度事業計画及び収支予算 ② 第 48 回理事会報告事項 ③ 第 48 回理事会決議事項 ④ 第 49 回理事会報告事項 ⑤ 第 49 回理事会決議事項 ⑥ 第 50 回理事会報告事項 ⑦ 第 50 回理事会決議事項 審議事項 ① 2024 年度(2024 年 4 月～2025 年 3 月)事業報告及び収支決算報告

6. 管理業務

(1) 寄附金受入

2025 年 4 月、協和キリン株式会社より 2025 年度運用財産(事業費及び管理費)として 7,200 万円の寄附を受領した。

(2) ホームページの改訂

各助成対象者について、歴代助成者名簿と共にホームページで公開した。

また財団年報ならびにパンフレットをホームページに掲載した。印刷版の年報には研究助成報告書の全文ならびに国際交流助成の学会参加報告書に掲載し、ホームページでは研究助成報告書は 400 字程度の概要のみの掲載とし、学会参加報告書は掲載していない。

財団理事・評議員・名誉理事 21 名から「若手研究者へのメッセージ」と題して、自身の経験や研究に対する思いなどを書いていただきホームページ上で公開している。

(3) 研究助成の広報

公募時に各種広報活動を行った。

1) 募集広告掲載

➤ 専門誌

「実験医学」2025年※7月号 羊土社 ※電子版:6/20 閲覧開始

➤ ホームページなど

①「ポータルサイト掲載」(JST、UMIN_FIND(※1)、助成財団センター)

②「学会等 HP 掲載」(日本生物工学会、日本農芸化学会、環境バイオテクノロジー学会(※2)、日本薬学会、日本神経学会、日本免疫学会、日本癌学会、日本分子生物学会)

(※1) 大学病院医療情報ネットワークセンター (※2) 事務局から会員向けにメール周知もして頂いた

2) 募集のダイレクトメール発信

①300 を超す大学や公的研究機関の窓口に発信(7/9-10)した。

②環境バイオ分野の有力研究室を率いる先生方 100 名強にも直接メール案内をした(7/13)。

3) 当財団助成者・助成団体経由による PR 活動

①研究助成:直近3回の助成者 91 名および②学会等開催助成:直近3回の助成団体・代表者 38 名にメールにて、同僚研究員や知人、主催学会等の会員・参加者(若手研究者)を対象とした直接的な PR(口コミ等)を依頼した(8/8)。

4) イベント等に出向いての PR 活動

①インターフェックス Week 東京(於:東京ビッグサイト)に参加し、出展していた大学・研究機関に当財団助成事業の PR を実施(7/11)。

②「微生物ウィーク 2025」(主催:東京大学/開催:7/28-8/2)期間中に発酵化学分野の助成財団による「※共同ブース」にて募集ポスター掲示やパンフ配布を実施した(※野田産業科学研究所が主導、発酵研究所と当財団の3財団が参画)。

(4) 債券等情報の収集と検討

基本財産の運用管理のため、証券会社5社から債券市場に関する情報を得た。今期は満期を迎える保有債券はなく、オプション付(期限前償還)債券の権利行使もなかった。なお、流動資産の受贈有価証券(株式)45万株については、主幹事証券会社と検討協議して市場売却方法等を工夫しつつ、計249,400株を売却して売却総額7,482万円を特定資産に計上。うち6,500万円を特定費用準備資金として経常収支赤字(想定:5年分)の財源とした。

7. 人の異動

(1) 選考委員 (敬称略)

藤間祥子、豊島文子、中嶋正敏、藤尾圭志
浅原弘嗣、佐藤伸一、滝川浩郷、伏信進矢

選考委員就任(2025年4月1日付)

選考委員退任(2025年3月31日付)

(参考)

上杉志成、田口英樹、松浦友亮、村松里衣子

選考委員就任(2026年4月1日付)